

～令和元年度における「日本遺産」に認定されました～

河内長野市が日本遺産申請をしておりました「中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～」が、令和元年5月13日付け元文資活第2号で認定の通知が下記のとおりありました。

今後は、文化庁からの支援を受けながら、地域に点在する文化遺産を「面」として活用し、発信していくことで、地域活性化を図ってまいります。

○認定証交付式開催について

認定発表及び認定証交付式：令和元年5月20日（月）11：00～12：00

場 所：東京国立博物館 平成館 大講堂

○文部科学記者会

発表日時：令和元年5月14日（火）16時 事前ブリーフィング

報道解禁：令和元年5月20日（月）12時交付式後

※新聞解禁は同日夜刊以降

○ストーリーの概要：

河内長野市は京と高野山を結ぶ街道の中間地に位置し、檜尾山観心寺、天野山金剛寺の2大寺院が隆盛したまちである。街道沿いの白壁の塀、銀色に輝く瓦葺きの屋根、朱・緑・黄色などの鮮やかな柱、優雅で美しいその建物の中は凜とした静けさに包まれ、金色に光り輝く仏像が安置されている。

この2大寺院の隆盛により市域では多くの社殿、お堂や仏像が造られ、また交通の要衝となったことから山城も築かれた。ここは、悠久の時を超えて千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫であり、訪れる人がまちじゅうで中世を体感できるまちである。

◎本件に関する問合せ先

河内長野市 環境経済部 産業観光課

☎0721-53-1111